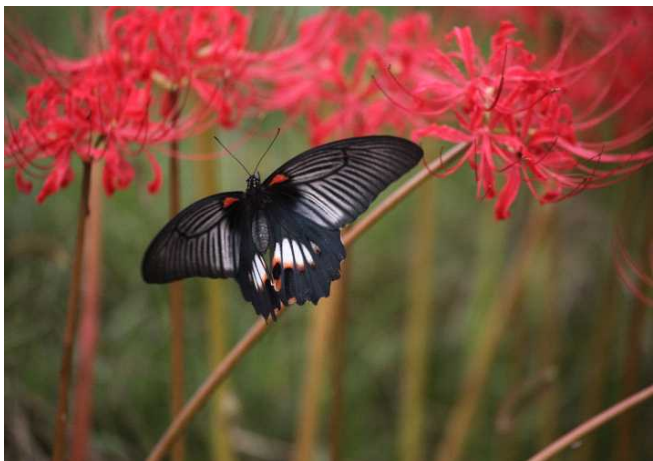


F o r e s t 通 信 10

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター No.297

巻頭 photo 高尾山の生き物たち



ナガサキアゲハ(アゲハチョウ科)

従来は南方系のチョウでしたが北上を続け、近年では東北地方までその生息域を拡大し、温暖化の指標種として注目されているチョウです。

高尾山一帯ではヒガンバナに吸蜜に来る光景が見られます。翼開帳が90～120ミリと大型で、メスには羽に複数の白斑点があるのが特徴です。

写真は駒木野のヒガンバナ群落で10月初旬に撮影したメスで、秋の趣が感じられますね。

(写真・文 大作栄一郎氏)



レモンエゴマ(シソ科)

1913年、高尾山で牧野富太郎博士によって初めて発見され、その後、本州、四国、九州に分布が確認されたシソ科の一年草です。姿がエゴマに似ていて、葉に触ると爽やかなレモンの香りがすることからこの名がつけました。茎は高さ20～70cmで、8月から10月にかけて多数の白～淡紅色の花をつけます。冬場でもシソの実に似た殻を手で揉んでみると、レモンの香りが鮮やかに蘇ります。

いろはの森

四季を通じ、高尾山を訪れる観光や登山客は多い。幅広い年齢層の人が訪れているが、特に年配の方が朝から元気に山へ向かう姿にうらやましささえ覚える。やはり健康だからこそ、のものだと思う。

というのも、私ごとで恐縮だが、ここ数年のうちに健康面に不安が生じ、医者のお世話になるようになってしまった。また、3年程前から季節の変わり目等に体調を崩すようになった。2、30代の頃には当然そんな経験もないうえ、体調を崩すのは体力や抵抗力の低下が原因、と医師からきいてショックを受けた。

あらためて、体を悪くすれば自由に動くことも食べることもできなくなると考え、健康は何事にも勝る、と今まで以上に強く意識するようになった。

高尾山を訪れる元気な年配の方々をみるにつけ、年齢を重ねても趣味等を楽しむことができるよう、しっかり健康と体力維持をしなければ、と日々思っている。(い)



高尾森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための諸活動を行っています。

依頼イベント

森林の働きや森林・林業の大切さ等の学びの場

高尾森林ふれあい推進センターでは、幼稚園・保育園、小学校・中学校や大学等の教育機関、地方自治体からの依頼により、森林の働きや森林・林業の大切さ等の学びの場として森林教室や体験林業、ネイチャークラフト等のイベントを実施しています。また、中学校からの依頼による職場体験等を受け入れています。8月、9月は、2校を受け入れました。



職場体験

江東区立 深川第八中学校

職場体験は、生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。当センターは、森林教室や林業体験のプログラムを組み入れた職場体験を実施しています。今回、江東区立深川中学校2年生5名が8月28日、29日の2日間にわたって職場体験に訪れました。28日は東京事務所で午前中森林・林業についての説明を受けた後、午後から測量、測樹、製図等を体験しました。

翌29日は当センターで、午前中、間伐体験と午後から高尾山登山道の点検巡視を体験してもらいました。間伐は5名で2本伐採しましたが、なかなかのこぎりが思うように使えずに苦労していました。また、切った木を玉切りして搬出しました。生徒たちはその重さに驚いていたようで、林業の大変さを実感していました。



斜面での間伐体験



地域を知る学習

八王子市立 横山中学校

9月26日(木)、八王子市立横山中学校の1年生5名が「地域を知る学習」をテーマに高尾センターを訪れました。生徒たちは多摩地域の森林の歴史や現状、高尾の国有林を管理する森林管理局の仕事の内容、そして日本と世界の林業についてセンター職員から幅広く学びました。事前学習をしてきたこともあり、活発に質問が飛び交う時間となりました。

森林・林業の勉強をした後は展示室を見学し、その後木工体験室でクラフト作成を行いました。指導員の説明を受けながら、使い慣れない電動ドリルやハンマーを懸命にふるい、本立てや木のおもちゃなどを完成させました。その仕上がりに嬉しそうに笑う顔が印象的でした。

やや短めの日程でしたが、そのぶん内容の濃い充実した一日となりました。



森林・林業について学ぶ



森林教室 八王子市立 第三小学校

9月19日の晴れ渡った空のもと、八王子市立第三小学校の5年生100名が大平国有林にやってきました。森林ふれあい館で開講式を行った後、ふれあい館の階段で記念撮影を行い、その後6班に分かれて自然観察に向いました。学習の歩道では、樹木による二酸化炭素の吸収や間伐の重要性などを目で見て実感するとともに水源林などについて学びました。午後からは丸太切りや森林教室(講義及びDVD鑑賞)を行いました子どもたちは一生懸命自分で切った丸太のコースターを大切に持って帰りました。子どもたちにとっては初めてのことばかりで、とても充実した一日であったようです。



水源林から流れてくる水を観察



第一次産業の林業を学ぶ 八王子市立片倉台小学校

9月24日(火)、八王子市立片倉台小学校の5年生52名が大平国有林で森林教室を体験しました。事前に学校から「森林(山)には、貯水機能があることを実体験により確認し、森林(山)の大切さを考えさせたい。また、森林には人工林があり、人工林を管理するため工夫や苦勞していることを学ばせることで子どもたちの生活する力・態度を育てたい。」との要望があったことから、森林土壌の構造などを詳しく解説する内容にしました。

子どもたちは、事前学習をしっかりとってきたこともあり、熱心に質問や疑問をセンター職員に投げかけていました。



森林土壌の解説



シモバシラ発見!



森林教室の行われる大平国有林は、季節ごとに多種多様な草花を観察することができます。今回自然観察の途中、シモバシラの群生を発見しました。シモバシラというと、寒い朝に地面をサクサク足踏みする「霜柱」を連想しますが、こちらはれっきとした植物の名前です。シソ科の一年草ですが、見所は茎が枯れ始めた初冬にあります。地中から吸い上げられた水がシモバシラの枯れた茎から吹き出し、夜間の寒さで凍り様々な姿に造形されます。すぐ溶けるので日当たりのよい大平林道では見たことがありませんが、少し足を伸ばして山頂付近まで足をのばすと見るができるかもしれません。冬の朝の芸術です。



渦巻き状に凍った氷柱→



information 参加者募集中！

秋の高尾山親子自然観察会



秋の森は紅葉、木の実など見所がいっぱい。みんなで遊びながら、高尾の森の小天狗になろう！

と き 平成25年11月10日(日) 8:40～15:30

と ころ JR高尾駅北口(バス移動)～日影バス停～日影沢キャンプ場(開会式)～小仏城山北東尾根道～城山(昼食)～小仏峠～小仏駐車場(閉会式・解散)～小仏バス停(徒歩15分)

集 合 JR高尾駅北口改札前 **8:40**(受付開始8:30)

実 施 森林インストラクター東京会

内 容 紅葉の始まりや落ち葉の色々、木の実・種など森の秋の恵みを観察しながら静かな尾根を城山まで登り、城山では拾った落ち葉で「小天狗の落ち葉ミニアルバム」を作ります。

対 象 者 小学生とその家族50名
(応募者多数の場合は抽選)

参加費 1人500円(交通費等は各自負担)

持 ち 物 リュックサック、昼食、飲物、敷物、筆記用具、雨具、保険証、活動しやすい服装、歩きやすい運動靴、帽子

備 考 雨天中止(小雨決行)

申込方法

往復ハガキの往信面に、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)・年齢・性別④電話番号(中止などの緊急連絡用)⑤電子メールアドレス⑥このイベントを何でお知りになったか。返信面には、お申込者の宛名をご記入の上、高尾森林ふれあい推進センター「秋の高尾山親子自然観察会」係までお申込みください。

★申込〆切 平成25年10月26日(土)必着



編集後記

最近、夜明けが遅くなっているのによりやく気がつきました。日の出ている時間がどんどん短くなっていくのはちょっと寂しいものです。ところで高尾はあと1ヶ月ほどで紅葉の季節。明るい昼間のうちに、鮮やかな風景をたくさん目に焼き付けようと思っています。(ま)

Forest通信 H25.10.1.No.297 4



information 参加者募集中！

静かな紅葉の北高尾 爽やか健康ハイキング



晩秋の静かな北高尾を自然観察としながらいろいろな秋を探しませんか。(中級向き)

と き 平成25年11月28日(木)

と ころ 8:15発大久保行きバス乗車
聖パウロ学園の森(開会式)～滝の沢林道～板当峠～杉沢の頭～富士見台～八王子城趾(閉会式)～霊園前バス停～高尾駅北口
※歩行 約5時間 10km

集 合 JR高尾駅北口 **8:00**

実 施 森林インストラクター東京会

内 容 晩秋の静かな北高尾から眺望を楽しみながら、色とりどりの秋の実りを観察し歴史を感じる八王子城趾まで健康ハイキングをします。

対 象 者 30名(応募者多数の場合は抽選)

参加費 1人1,700円(別途バス代)

持 ち 物 弁当、飲物、雨具、ストック、ハイキング装備

備 考 荒天中止(中止の場合は前日に連絡)

申込方法

往復ハガキの往信面に、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)・年齢・性別④電話番号(中止などの緊急連絡用)⑤電子メールアドレス⑥このイベントを何でお知りになったか。返信面には、お申込者の宛名をご記入の上、高尾森林ふれあい推進センター「静かな紅葉の北高尾 爽やか健康ハイキング」係までお申込みください。

★申込〆切 平成25年11月14日(木)必着

Forest通信 No.297

発行:高尾森林ふれあい推進センター

Forest通信へのご意見・ご要望・イベントの

お申込み・お問い合わせ先

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

